

議会だより

2017

平成29年2月1日発行

No.22



Contents

平成28年度一般会計補正予算を可決

② 12月定例会・委員会研修報告

⑥ 議会研修報告

⑧ いっぺん来てつか 議会報告会

⑩ 委員会報告

⑬ 10人が町の考えを問う 一般質問

⑳ 議会からこんにちは
野菜づくりにかける青春

平成28年12月定例会

開催期間 12月5日～16日(12日間)

一般会計補正予算など18議案の審議を行い原案通り可決した。

主な補正は、農業費の団体営推進事業費2億3千万円。

新規就農・農地集積事業費2千万円、子ども未来夢基金の積立金1億3百万円等である。

平賀源内(わらび座)



子ども未来夢基金でミュージカルが行われ、町内小中学生が観覧

平成28年度 12月補正予算(概算)

会計名	補正額	予算総額
一般会計	5億6700万円	112億6700万円

平成28年度 12月補正の主な内容(一般会計) 概算

事業名	目的別名	予算額
農業振興事業費	新規就農・農地集積事業費	2000万円
基金費	子ども未来夢基金	1億300万円

●平成28年

12月定例会

即決案件

議案第9号

工事請負変更契約の締結
(平成28年度四条小学校校舎棟
等大規模改修工事)

当初の予定より改修箇所が増えた。

【契約金額の増額】

金291万6千円

【変更後の金額】

金1億6千8百48万円



四条小学校 ていねいな改修工事を

【契約の相手方】

まんのう経常建設共同企業体

代表者 株式会社 七箇工業

代表取締役 山下美博

議案第10号

和解及び損害賠償の額の決定



修繕が終わった林道（西谷線）

原案可決

平成27年8月、軽トラックが江畑地区の林道西谷線（通行規制をしていた）の台風11号で被災した道路に気付かず前輪を落とし、その後車両と共に滑落し同乗者も負傷し、車両も損傷した。

【和解及び損害賠償の相手方】

運転手と同乗者

【損害賠償の額（人身と物損）】

金82万円

原案可決

議案第11号

下福家宮農飲雑用水施設の指定
管理者の指定

【指定する団体】

下福家水道組合

【指定の期間】

平成29年4月1日から平成34年3月31日まで

原案可決



下福家宮農飲雑用水施設

議案第12号

なかぐましゅ

中熊下宮農飲雑用水施設の指定
管理者の指定

【指定する団体】

中熊下水道組合

【指定の期間】

平成29年4月1日から平成34年3月31日まで

原案可決



中熊下宮農飲雑用水施設

議案第13号

香川県市町総合事務組合を組織する地方公共団体の数の減少及び香川県市町総合事務組合規約の一部変更

三観衛生組合が平成29年3月末で解散するため脱退を認めた。

原案可決

議案第14号

香川県市町総合事務組合を組織する地方公共団体の数の減少に伴う財産処分

三観衛生組合が離脱することに伴う財産処分について認めた。

原案可決

議案第17号

平成28年度町簡易水道特別会計補正予算(案)第1号

人事異動に伴う人件費の減額。

原案可決

議案第18号

平成28年度町下水道特別会計補正予算(案)第1号

人事異動に伴う人件費の増額。

原案可決

付託案件

12月8日、9日、12日、15日の4日間にわたり執行部に必要な書類と詳細な説明を求め、慎重に審査を行った

総務常任委員会付託

議案第1号

町職員の勤務時間、休暇等に関する条例の一部改正

休暇の種類に介護時間を、介護休暇に要介護者を加えた。

●主な質疑と答弁

【委員】 職員の休暇取得状況は。

【執行部】 監査調書で報告する。

議案第2号

町職員の給与に関する条例の一部改正

人事院勧告に従い給与改定と扶養手当の見直しを行った。

●主な質疑と答弁

【委員】 嘱託職員・臨時職員の優秀な職員に対しては優遇制度を設けるべきではないか。

【執行部】 検討する。

原案可決

議案第3号

町特別職の職員で常勤のものの給与及び旅費に関する条例の一部改正

人事院勧告に従い改正した。

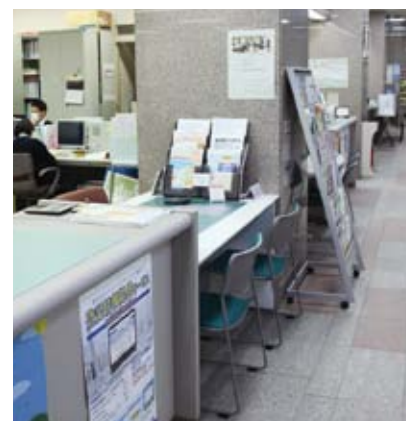
原案可決

議案第15号

平成28年度町一般会計補正予算(案)第2号

●主な質疑と答弁

【委員】 一般管理費関係の減額の内訳は。



車イスの方にも 対応したカウンター

【執行部】 人事異動と人事院勧告に伴う給与改定による。

【委員】 財産管理費の施設修繕費はどこを修繕するのか。

【執行部】 庁舎町章の補修と1階に障がい者向けカウンター等を設ける。

【委員】 企画管理費の減額は。

【執行部】 ことなみ未来会議事業において加速化交付金が採択されたことによる減額である。

【委員】 かりんの里事業費の増額は。

【執行部】 かりん亭施設等の修繕費である。

【委員】 支所及び出張所費の減額は。

【執行部】 琴南支所改修工事の入札による減額である。

【委員】 商工費の増額とは。

【執行部】 商品券の換金料で今年度2千万円分の追加発行のための増額である。

原案可決

教育民生常任委員会付託

議案第4号

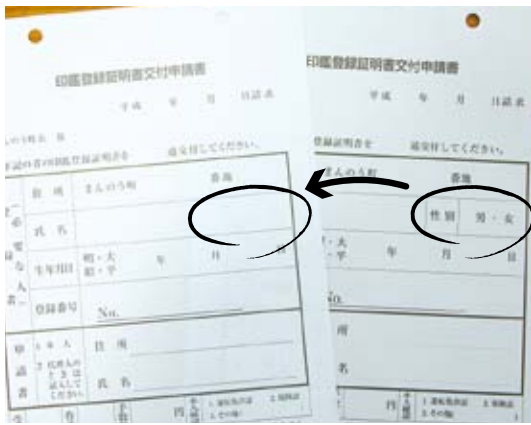
町印鑑条例の一部改正

※性同一性障害の性別の取り扱いの特例に関する法律の施行により、性同一性障害がある方々に配慮し、印鑑登録の申請書・証明書から男女の事項を削除した。

●主な質疑と答弁

【委員】町では男女の記載があるのは、印鑑登録の申請書・証明書だけか。

【執行部】条例については印鑑条例だけである。



性別欄がなくなった申請書

【委員】男女別を書かないことにより不都合はないか。

【執行部】法律により男女別を書かなければならないものもあるが住民生活課では免許証や保険証で確認できる。

※性同一性障害とは 心の性（性同一性）と身体的性別（身体の性）が一致しない状態

議案第16号

町国民健康保険特別会計補正予算（案）第2号

●主な質疑と答弁

【委員】保険給付費の増額は何か。

【執行部】高額療養費で高額な調剤の利用が増えたため、負担金が増額した。

【委員】直営診療施設勘定内科の増額は。

【執行部】医師の人事異動と給与改定である。

【委員】人事異動により医師が変わったが、患者らの評判はどうか。

【執行部】若い男性医師で前任者同様に親切・丁寧であり相談にも乗り、大変喜ばれている。

原案可決

原案可決

建設経済常任委員会付託

議案第6号

道路線の認定

町道杉ノ上秀石線と杉ノ上中村線を結ぶ路線を認定した。

議案第7号

道路線の変更

町道清神原線の終点を変更した。

議案第8号

道路線の廃止

福良見中筋線2号を他事業で改良を行うため、町道としては廃止するもの。

●主な質疑と答弁

【委員】改良区間はどこか。また地元との協議を十分して、整備を。

【執行部】起点から終点までの全線を計画している。左右に民家がある箇所は、待避場を設ける等して地元との協力を得たい。

原案可決

原案可決

原案可決

議会運営委員会付託

議案第5号

町議会議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部改正

人事院勧告に従い改正した。

原案可決



町道に認定の道路

本会議初日の冒頭、関洋三議員からの発言申し出があり、議長がこれを許可した。

関議員の発言

9月議会最終日に飲酒運転で検挙された白川年男議員に対し私たちは「議員辞職勧告決議案」を提出しました。採決の結果議場を退出した3名を除いて全議員の賛成を得て「白川年男議員辞職勧告決議案」は採択されました。当日白川年男議員は欠席でしたが「白川年男議員辞職勧告決議案」は今現在も有効です。今ここに「議員辞職勧告決議案」を受けた白川年男議員が議場に在席するのは極めて不自然です。多くの住民は不信感を抱いておられることと思います。白川年男議員が「議員辞職勧告決議案」を「ものともしない態度」をとるのであれば、この場で正確に弁明すべきです。このことは議会運営上、必要不可欠です。議員辞職勧告決議案に対する当事者の弁明を強く求めます。

白川年男議員の弁明

この度の、交通違反につきましては、すでに我が国の交通法規にのっとり、すべて終了いたしております。また、本会議におきましては、議員辞職勧告がされ、そして議会広報にもその旨詳しく町民に報告されました。先日、再度、この件について議長から、説明するようという申し出がありました。私が、私として、これ以上にご報告申し上げることはございません。このことは、ご承知の通り我が国の憲法第38条におきまして認められている国民の権利でもあります。

尚、この度の私の違反事項につきましては深く反省し、今後はより以上に地域住民の福祉の向上に全力を傾注してまいりたいと存じますのでよろしく願います。

※憲法第38条

①何人も自己に不利益な供述を強要されない。(黙秘権)

②③省略。

Report
01

平成28年 教育民生常任委員会

【日時】平成28年11月15日

【場所】奈良県平群町

子育て支援 No.1 宣言のまち

平群町は、子育て中のお父さん、お母さんを全力で応援するとして「子育て支援No.1宣言」をしている町です。

・小さな町で大きな教育「小学6年生までの学童保育・学校のエアコン整備、地域の子育て課程を厚くサポートできる体制」等。

・安全な食環境「学校給食など新鮮で美味しい地元産の農産物をあらゆる場面で味わう」など。また、この他にも子どもの医療費が高校卒業まで無料。さらに住宅取得の要件を満たした50才以下の方に對しては、固定資産税を最長3年間キャッシュバックなどのさまざまな平群町独自の施策を学ばせて頂きました。他にも「恋まち、育まちへぐりつつ」として、恋活、婚活支援にもとりくみ婚活から、子育てまでの一環した支援をされています。

これらのことを「宣言」として、町内外にしっかりと発信していることは、若者の定住促進にも繋がり本町としても学ばべきであると思います。



嶺南^{れいなん}6市町の有害鳥獣を焼却 加工処理する共同の施設



福井県西部の嶺南広域行政組合が、若狭町でイノシシやシカなどの有害鳥獣を捕獲した後の焼却処分や食肉加工処理の実態を視察しました。焼却施設では燃料の灯油代金の高騰や修繕費用の経費捻出に苦慮していました。加工処理の問題点は鉄砲弾の残るものや脂肪が少ない夏場の肉は利用できない。そして販売では供給する安定量の確保や未だに後継者が見つからないことなどを知りました。今後これらの不安要素を取り除く調査研究を強く意識しました。

移住のターゲットは子育て世帯 始めから終わりまでお世話するシステム



な点は、定住相談のワンストップ窓口を設置しているところであり、宅建業者との綿密な連携を制度に組み入れているところでした。

市民・事業者・綾部市が協力して支援する取り組みは、特に子育て世帯の定住に成果を上げていて、本町においても参考になる施策であると思いました。

今回の視察で学んだことを委員会としても、これからのまんのう町創生に生かしていきたいと思っています。

現在、地方創生の取り組みにより多くの自治体で、移住・定住促進策が進められています。

今回の視察では、宅地分譲など定住促進の総合施策を聴取させて頂くことができました。

綾部市の取り組みの重要

いっぺん来てつか

もっと身近な議会に！



議会報告会の開催

議会報告会（意見交換会）は議会活動や町政について、議員が住民の皆さまに直接ご報告すると共に、自由に意見交換や情報交換をする場として、開催をしています。

11月21・22日の2日間で町内6会場において45名の住民の皆さまと町の課題や、町の将来について、語り合うことができました。その中からいくつかご紹介いたします。

※当日の内容、及び後日に皆さまからのご意見を議会より執行部に伝えたいもの、またその返答も一部ですが掲載しています。



活発な意見交換

町のホームページ

このままでは
勿体ないと思う

問 まんのう町は子育て支援に力を入れ頑張っているが、そのことがホームページから伝わっていない。

答 議員の一般質問や委員会の中でてもホームページの充実について要望している。

有害鳥獣

さる対策は大丈夫な

問 さるの被害に悩む地区が増えていると聞くが対策は難しいのか。

答 平成28年度は県の集落支援事業を活用して二自治会がわなの設置管理をして、さるの捕獲に取

り組んでいる。議会としても有害鳥獣対策は重要課題の一つだと認識している。



捕獲したさる

学校教育

教育現場でも
伝えてほしいなあ

問 学校の授業の中でも、子どもたちにまんのう町を愛する気持ちを持たせる教育が必要だと思いが。

答 学校では社会科の副読本「まんのうのすがた」で町を紹介するとともに郷土にたいする愛着が持てる学びを進めている。（学校教育課）

高齢者の免許返納

もっとなんとか
ならんかな

問 車の免許が無くなった後のことを考えたら今のままでは、なかなか手放せない人が多いと思うが。

答 議会としても適切な指導や施策の拡充が早期に必要なだと考え要望している。



交通安全

伐採してもらえんかな

問 五毛地区にある桜の枝が一部道路にはみ出して通行の障害になっている。

答 植樹関係者と協議のうえ対処したい。（建設土地改良課）



大災害時に大丈夫か

野口ダム

大地震があっても大丈夫な

問 常々心配していることだが、野口ダムは大規模災害時に大きな被害を受ける様なことはないか。

答 重力式コンクリートダムの設計は震度法を用いて設計されており、東日本大震災においても被害はなかったとのことである。(建設土地改良課)

その他の町民の皆さんからの意見をいくつか紹介いたします。

学校と地域

- ・ 今年は文化祭に中学生のボランティアが少なかったが、どんどん参加するようにしていくべきだと思う。学校と地域とのつながりは大切。

- ・ 地域と学校のつながりが薄くなりつつあるように感じる。地域の子どもたちが一緒に何かをすることは必要だと思う。

子育て支援

- ・ まんのう町が子育て支援に力を入れていることは大変に良いと思う。

観光

- ・ まんのう公園の年間パスポートを作成してはどうか。
- ・ 満濃池が「かんがい施設遺産」になったことを広くPRしてはどうか。

過疎対策

- ・ 琴南支所の近くに商店があれば良いと思う。

農業

- ・ ひまわりの補助金は出来高も考慮に入れるべきではないか。
- ・ 農振地域を解除し特区を作ってはどうか。
- ・ 農業には、高額な機械が必要、費用を考えたら人をお願いする方が良い。
- ・ 農業をしているが、機械が古くなり使えなくなれば続けるかどうか悩むと思う。



手入れが難しいひまわり畑

防災

- ・ 自主防災組織を立ち上げても自治会の会場に防災備品を置く場所がない。

議会に対して

- ・ 不祥事に対してルールを考えるべきでは。
- ・ 議会倫理条例制定が必要では。

白川年男議員に対して

- ・ 町民に対して自ら謝罪するべきでは。
- ・ 慎重に行動しないとイケないのではないか。
- ・ 辞職の意思はないのか。

白川正樹議員に対して

- ・ 本人は役員を離れているが会社が3ヶ月の指名停止を受けている道義的責任があるのではないか。

今回の議会報告会（意見交換会）におきましてもご参加いただきました皆さまから貴重なご意見をたくさんいただきました。本当にありがとうございます。皆さまからのご意見は、今後の議会審議の中で、参考にさせて頂くとともに、必要なものについては、十分に話し合っていきたいと思っております。

※まんのう町議会においては政務活動費の支給はありません。

教育民生常任委員会

●現地調査 ●捨て犬・捨て猫 ●介護事業 ●子どもの未来応援 ●子育て支援



行き場のない犬

**捨て犬、捨て猫
最後まで世話を**
【委員】捨てた犬猫などが、空家に
住みついているケースがある。ま



完成間近 放課後児童クラブの建物

※11月24日四条小学校改修工事、
満濃南小学校放課後児童クラブ
新築工事の現地調査を行った。

【委員】町の新しい介護事業、要
支援1、2について、他の市町
との比較は。
【福祉保険課長】訪問型・通所型
サービスは琴平町と歩調を合わ
せるよう協議し、事業者への説
明も行った。住民サービスが低
下することはないと思う。



楽しく頭の体操中

**介護事業
サービス低下の
ないように**

た、捕獲箱で捕獲しても扉を開け
て逃がす人もいるようだが対策
は。
【住民生活課長】犬猫の置き去り
は、法律で罰金刑もあるが「捨て
ないで」などの看板の活用や広報
等で不法投棄と併せて注意を呼
びかけたい。



子どもたちの未来のためにできることは



(イメージ)

**子ども
未来を応援**

【委員】満濃地区民生委員が11月
に高知市に視察に行ったとの報
告だが、子ども食堂に取り組みた
めのものか。
【福祉保険課長】朝ごはんを食べ
られずに学校に行く貧困世帯の
子どもが増えている。学校で行わ
れている民生委員の活動の一環
としての朝食サービスの視察を
行った。



おともだちと 遊びたいな

**子育て支援
減少の理由確認を**

【委員】つどいの広場は6月から
10月まで前年度と比較して、利
用者が減少しているが、理由と
してはどのようなことが考えら
れるか。

【健康増進課長】今年から、幼稚
園、保育所が認定こども園とな
り、支援センターも整備された
こと等があるかもしれない。今
後の推移を見ていきたい。

建設経済常任委員会

●鳥獣供養 ●ため池 ●浄水場 ●地籍調査

※11月21日中山間地域所得向上支援事業「薬師堂工区農道舗装工事」「追上工区農道改良工事」「東山工区オリーブ園造成工事」「川東上・野口工区農道舗装工事」「長尾工区農道舗装工事」町単独「ストーンガード設置工事」の現場確認を行った。



現場確認

鳥獣供養

毎年、年度末にしては

【委員】「鳥獣供養の会」は、年間駆除頭数がはつきりする年度末に変更してはどうか。

【農林課長】年度末でなくても駆除頭数は把握しているが、開催時期については検討する。

ため池 正確な数を

【委員】ため池台帳については、震災時に備えて正確な数字で管理してほしい。

【建設土地改良課長】ため池台帳については、実態と合っていないところがある。数字の変更等を県に報告し訂正していきたい。



廃止予定の四条浄水場



登録されているため池

浄水場 整理や、管理は

【委員】水道広域化となっても、四条浄水場の配水池はそのままか。

【水道課長】四条浄水場の浄化設備等の機能は廃止となる予定だが、羽間山の配水タンクは存続し、その補助として配水タンク1基を河川区域外に増設を行い、上水道地区の浄水場は高屋原1基になる。

地籍調査 現場確認を

【委員】地籍調査に当たって、耕作放棄地等の扱いはどうしているのか。

【地籍調査課長】現況を重視し、地域住民や所有者からの聞き取りを十分に行うなど、地目等の確認でも慎重な対応を行っている。



耕作放棄地の地目は

平成28年12月9日
建設経済常任委員会副委員長
が交代いたしました。

新副委員長 合田 正夫

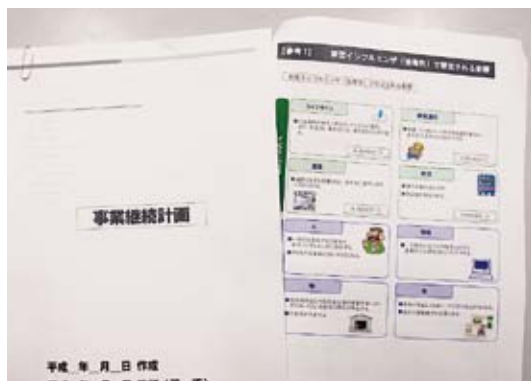
総務常任委員会

●BCP（事業継続計画） ●金倉川 ●高齢者運転免許返納 ●ご当地ナンバー ●人事評価

BCP（事業継続計画） 大規模災害に備えて

【委員】香川大学より講師を招いて各課の担当者会を実施しているようだが、今後の計画はどうなっているのか。

【総務課長】11月に全体の会を実施し、各課の災害に備えての洗い出しをし担当者レベルで煮詰めていく。業務継続計画は遅くとも来年度中には成文化したい。



備えあれば 憂いなし

金倉川 整備計画を

【委員】金倉川の河川整備計画を検討するよう中讃圏域から働きかけしてほしい。

【建設土地改良課長】県の管理なので、町として早急に立ててもらえるよう提案していきたい。



金倉川 待たれる整備計画

高齢者運転免許返納 支援の拡充を

【委員】デマンドタクシーを利用するとなると、現在ある3台の車では利便性の問題があるが、今後の考えはあるのか。

【企画観光課長】予算的な面も考えながら、公共交通体制の現況を確認し協議検討していきたい。

ご当地ナンバー まんのう町を広くPR

【委員】ご当地ナンバーの導入については、どのようになっているのか。

【税務課長】ナンバープレートのデザインに「ダイヤのエース」を起用する予定である。50cc、90cc、125cc、農耕用、ミニカーの5種で平成29年4月3日以降での交付予定である。交付は先



ご当地ナンバー（イメージ）

着順とし、希望ナンバー制度は導入しない予定。現在交付されているナンバーからの変更も可。

人事評価 人材育成に つながるように



住民によりよいサービスを提供

【委員】人事評価の進捗状況は。

【総務課長】人事評価については、23年度から人材育成を目的に実施している。職員からも一定の理解を得ている。管理職については順次評価していきたい。

議員名	質問内容	関連ページ
竹林 昌秀	本町の総合計画の成果とこの後取り組むべき課題を問う 公共事業の発注量の安定執行を求め、この後数年の展望の説明を求める 町の教育基本計画の実績と残された課題を問う	P14
川西米希子	健康マイレージ事業の導入について 被災者支援システムについて	P14
藤田 昌大	若者の子育て支援の実施について 町おこし協力隊員の現状について	P15
関 洋三	結婚相談について ゴミ収集について 放課後学習について	P15
川原 茂行	少子高齢化対策について	P16
松下 一美	本町の民宿について 集落支援員、地域おこし協力隊を問う	P16
三好 郁雄	運転免許返納について 空き家対策をどのように考えているのか	P17
白川 正樹	学校・高齢者施設の外部からの不審者への安全対策について	P17
三好 勝利	限界集落について スナッグゴルフの導入について 小学校の人員の見直しについて	P18
大西 豊	第41回全国育樹祭について 高齢社会における持続可能な農業について 容器包装リサイクル法による分別事業について	P18

議員



町長・教育長

議員が町の考えを問う

12月定例会では、10人の議員が一般質問を行いました。
議員情報等は、まんのう町ホームページ（議会情報）に掲載していますので、ご覧ください。

そうだ、議会へ行ってみよう！

次回の定例会は
3月に開催予定です。

町議会は、どなたでも傍聴できます。
会議日程は、ホームページ、告知放送でお知らせしています。

詳しくは議会事務局へ ☎0877-73-0109



議会の傍聴席（後方）

まんのう町 HP 議会情報 <http://www.town.manno.lg.jp/gikai/>

次の10年の総合計画の策定

問 百の指標と市町ランキング

答 活用する



竹林 昌秀 議員

竹林 数値目標に、「百の指標による香川」や「同市町ランキング」を使えぬか。住民生活や地域社会の実態の改善や向上こそ、政策目標であり、手立てを講じることではないか。

町長 活用に取り組む。

議会の意向を反映させる

竹林 議会の一般質問がどのように反映されていて、実現できていないか、一覧表にしてトレースして、総合計画に盛り込むべき施策や事業とすることが出来るのか。

町長 手がける。

実績のトレース

竹林 次期総合計画を町政報告と成果報告書で実績トレースする運用を求める。この総合計画が過疎自立計画を兼ねることにして、二重の策定を回避できぬか。

町長 検討させる。



農地 多面的機能保全会議

職員の目標管理に

竹林 「まち・ひと・しごと創生総合戦略」の数値目標を、職員の年次目標管理に反映させることができぬか。

町長 内部で協議させる。

財政健全化の五つの指標

竹林 中長期財政展望は、基金残高と地方債残高、財政健全化の五つの指標の試算値を合わせて記載することを策定条件として求める。

町長 それらを記し、十分に説明する。

生涯健康

問 マイレージ事業の導入を調査、検討をしたい



川西 米希子 議員

川西 マイレージ事業は、住民の健康づくりを促進するもので、町で決定した健康づくりを行いポイントを集めると特典が得られるというもの。住民の健康づくりに取り組む動機づけや、励みともなる施策が必要だと思ふが。

町長 すでに定期的に運動を行っている人も大勢いるが、続かない人、健康に無関心な人もいる。「自分の健康は自分で守る」考えのもと、地域ぐるみで健康づくりに取り組む中で、健康マイレージ事業の調査、検討をしていきたい。

大規模災害

問 本町の危機管理の充実を各課で災害時業務を検討、確認中

川西 大地震等による大規模な被害が発生した場合、行政機能の復旧、支援や救護、り災証明などの業務を

迅速に行う必要がある。被災者支援システムの完備など、より一層の対策推進を。

町長 本町の被災者支援システムは、全国に無償公開されている兵庫県西宮市のシステムをベースに運用。発生確率が年々高まる南海トラフ大地震など、自然災害による被害を最小限に抑えるためより一層対策を推進していく。



子どもたちの将来を見すえた対策を

若者の子育て支援の実施

問 給食費の無料化で負担軽減しては

答 就学前については
早急に実施したい



藤田 昌大 議員

藤田 6月議会では若者の子育て支援の一環として給食費無料化等の保護者負担軽減について質問したが、現状はどうなっているのか。教育委員会その他の会議で検討したのか。現状では子どもの貧困率は6人に1人といわれている。本来ならば義務教育終了まで無料化と思うが当面就学前まで早急に実施してはどうか。誠意ある回答をお願いしたい。

教育長 質問の趣旨は充分理解できるので定例教育委員会・総合教育会議において保護者負担の軽減を要望した。議員ご指摘の就学前の支援については2・3年のうちに実施したいと考えている。

隊員の労働条件の確保

問 地域おこし協力隊の具体的な任務は

答 今年度中に確率していきたい

藤田 かねてより導入について要望していたが、このたび2名の協力隊員が着任した。それぞれの隊員が充

分な活動が出来るよう勤務時間管理や福利厚生等の条件はどうなっているか。

町長 今年の8月18日から富山隊員については仲南の帆山地区を中心とした農業振興に、福本隊員は琴南地区を活性化する活動に取り組んでいる。それぞれの隊員ともすでに秋祭りや地域行事等、自らすすんで参加しており今後の展開が期待されている。労働条件については非常勤の特別職として委嘱し、平成31年3月31日までの契約となっている。勤務時間は月曜日から金曜日の9時～16時までの1週30時間である。時間外については活動時間の振り替えて調整している。住居と公用車を貸与することで迅速な行動をしていただいている。町としても側面からバックアップし、目標達成に向け連携していきたい。



地域おこし協力隊と

結婚相談

問 婚活支援の継続を

答 来年度も助成の方向

関 香川県が取り組み始めた「かわ縁結び支援センター」との連携を密にした婚活支援を勧める考えは如何に。

町長 「縁結おせっかいさん」との連携を図ると共に、各種団体と垣根を越えて取り組む。



週1回 回収日にあふれ出るゴミ

週2回

問 ゴミ収集日を増やすべき

答 来年度より通年にする

関 一人当たりのごみ搬出量は県内で一番少ない。住民の努力を認めてゴミ収集日夏季週二回の期間延長を是非検討してほしい。

町長 行政サービスの向上を図るべく来年度は年間を通して週2回ごみ収集を実施する予定。

放課後児童クラブ

問 実施場所は適正か

答 気になる場所も存在

関 一部新築の完成により格差が生じてくる上に公民館との併用箇所が際立って目立つ。

町長 公民館の運営上、利用が困難となる場合には新たな場所の検討を進める。



関 洋三 議員

人口減対策

問 若者がふる里に夢を

答 定住者対策を重点に



川原 茂行 議員

川原 町の将来のために、少子高齢化の進展に歯止めをかけなければいけない。まんのう町で育った若者が定住し、結婚・子育てをしていくことが基本であり、若者をいかにして町に留めるかを考えることが重要である。多くの予算をかけずとも熱意があれば、良い案が浮かぶのではないかと。自然豊かなまんのう町ならではの行事、幼少期にふる里に思い入れが残る行事があれば良いと思う。

また、積極的に若い農業の後継者や若い新規就農者などを育成していく必要がある。そうすれば、今後、定住・結婚にも結びついてくる。少子高齢化対策についてはどのように考えているのか。

町長

昨年10月末に、人口減少に歯止めをかけるため「まんのう町人口ビジョン」及び「まんのう町まち・ひと・しごと創生総合戦略」を策定した。定住促進に主眼を置いた計画である。「ひとの創生」に関する主な施策として、若者の結婚を応援す

るため婚活イベントを

実施した。本年度は、合併10周年記念事業として、各種団体が婚活イベント、結婚相談サポート事業を実施している。成果を見ながら現行の助成制度の充実を図っていきたい。今後、総合戦略において、進捗の確認、要因分析、施策の見直しを行いながら、より実行性のある施策に取り組みていきたい。



大きくなあ〜れ (もっこく池のニジマス放流)

宿泊施設

問 民宿の整備を

答 不足しているため検討

松下

本年、9月17日〜10月10日まで、「かがわ山なみ芸術祭」が琴南地区で開催された。出展者を始め多くの来町者があったが、近くに宿泊施設が少なく苦労されたと思う。今後各種イベントが開催されることを考えると、地域振興基金等を活用し、民宿の整備をはかるべきでは。

町長

宿泊施設の絶対数が不足している。一般住宅を活用し、宿泊施設の不足解消と空家対策の両面から検討していきたい。



かつてのにぎわいをもう一度

地域創生

問 集落支援員・地域おこし協力隊を問う

答 手当てについて検討

松下

集落支援員は琴南地区を熟知した方で地域と連携を計り支援に取り組んでいる。地域おこし協力隊の二人は、本町に住み、地域の活性化に貢献されているが、成果を上げるか否かは、本町の受け入れ態勢いかんと思われる。土・日・祝日の出勤も多いようだが、賞与・手当てが支給されていない。現在、月額20万余の報酬が支給されているが、何らかの手当てを考えるべきではないか。

町長

集落支援員は地域のサポート及びコーディネーター役として取り組んでいる。地域おこし協力隊の福本隊員は琴南地区を拠点に、富山隊員は仲南地区のひまわりを中心に地域の活性化に取り組んでいる。手当てについては、今後検討していきたい。



松下 一美 議員



身分証明書の機能を代用

三好 高齢になると自分や家族の判断で免許返納しなければならぬ時期も来る。本町では、65才の人を対象に一年間のデマンドタクシー無料パス券を配布する免許自主返納支援事業を実施しているが、家族への支援、

高齢者運転免許返納

問 返納後の不安の解消を

答 さらなる方策を検討



三好 郁雄 議員

相談支援などさらなる支援が必要ではないか。

町長 支援期間の延長や家族に対する支援福祉タクシー券の増額等々について検討していきたい。広く将来を見据えた高齢者の移動手段の確保、総合的な生活支援として協議したい。

空家対策

問 悪影響の未然防止を

答 法が示すガイドラインを検討し、対応していく

三好 老朽化により周辺に悪影響を及ぼす恐れのある空き家が増えていく。対策をどのように考えているのか。

町長 平成29年度より、「まんのう町地域住宅計画による空き家実態調査」と「まんのう町老朽危険空き家除去支援事業」を実施する予定である。

町有施設

問 外部からの不審者への安全対策は

答 対応マニュアルを作成中

白川 町には、こども園が6園、小学校が6校、中学校が1校、高齢者施設は3施設ある。これらの施設に不審者が侵入した場合の対策は考えているのか。

教育長 職員の訓練は実施している学校と、していない学校があるので全校実施に向けて指導したい。対策道具は、全ての学校に「刺股」を配置している。防護盾・なぎなた・竹刀、防犯スプレー、防犯ブザー、防犯カメラを設置している学校もある。園長・校長会で用具一式の検討をした。児童・生徒の安全確保が第一である。また、担任の誘導により、年1回以上の防災訓練時に不審者を想定した避難訓練を実施している。

町長 町有施設の3施設は社会福祉法人 正友会に管理を委託している。これらの施設は「社会福祉施設等における安全確保に関する講習会」を受講し復命研修を実施している。不審者への対応マニュアルは作成中で



白川 正樹 議員

ある。平成29年1月には不審者に対する緊急時の対応訓練を琴平警察署と行う。防犯カメラの設置は検討している。刺股等の備品は備えてない。介護保険施設の町が指定した事業所は、厚生労働省が出した「社会福祉施設等における入所者等の安全の確保について」で指導・監督をしている。



地域住民との楽しいイベントで 不審者撃退を

限界・消滅集落

問 くいとめる施策を

答 鋭意検討している

三好 限界集落消滅集落に関して、町当局はどのように対処していくのか。少人数の地区ほど人口減少が早まっている様に感じる。十分調査検討を願いたい。

町長 本町は合併を機に全町津々浦々までを光ファイバーによる高速通信インフラを完備している。自治体や地域住民がバックアップ体制を作ること、サテライトオフィスの誘致も可能である。また、農業分野にITを取り入れて効率化を図ったり、時間はかかるが、産直品をブランド化したりする手法も検討する価値があると考えている。これらは、限界集落化が激しいほど難しくなっていくが、それ以前に、現在、鋭意検討している「ことなみ未来会議」の成果に期待して最初の一步を踏み出す勇気と、地域の賛同と連携を得て進めていく過程が重要と考えるので、各位においても効率や経済性だけでなく過去から脈々と受け継がれてきた伝統文化を尊重しながら着実に進めていくので、ご理解の程をお願いしたい。

体力向上

問 スナッグゴルフの導入

答 PTA、校長会で紹介

三好 最近話題になっている低学年を対象としたスナッグゴルフ導入について調査検討をお願いしたい。(何か新しいスポーツで体力の向上と楽しさを持ってもらいたい。)

教育長 スナッグ (SNAG) とはスターティング ニュー アット ゴルフの頭文字をとって、又、「くっつく」という意味を併せて名づけられている。子どもたちが学生生活の中で様々なスポーツに接することは、体力づくり・健康づくりに、そして、その後の生涯スポーツにつながるものと考えており、教育委員会では町内のPTA、校長会において紹介したいと考えている。



新しいスポーツ



三好 勝利 議員

全国育樹祭

問 どう盛り上げていくのか

答 公民館等の各種行事と調整

大西 平成29年秋に、県内で初めてまんのう町で開催される第41回全国育樹祭。その1年前のイベントとして「第61回香川県植樹祭・県民育樹祭インまんのう」が11月13日開催され、私も参加した。まんのう町にとって、大きなイベントでありながら、琴南地区・仲南地区のイベントと重なり、県知事が出席されたにもかかわらず、300人程度の盛り上がりになり欠けた行事だった。この件について議会報告会でも国営さぬきまんのう公園・香川県満濃池森林公園等の有効活用が指摘されていたが、本番に向けてどのように取り組むのか。

町長 目標30%に近づけるために今後も町広報誌やホームページ・行政放送などで啓発に努め、5月の各自治会長会でも協力をお願いする。

町長 11月13日行われた、第61回香川県植樹祭・県民育樹祭と、4つの公民館まつり等があり調整できなかった。平成29年1月に開催日が発表され次第調整し全力で取り組む。

資源ゴミ

問 リサイクル率30%達成は

答 各自治会長会でお願いする

大西 ごみのリサイクル率を平成29

全国育樹祭とは

健全で活力ある森林を育て、次の世代に引き継ぐことの大切さを伝えるために、昭和52年から毎年秋に行われている緑の祭典。全国植樹祭において天皇皇后両陛下がお手植えされた樹木を皇族殿下がお手入れされるとい育樹運動のシンボリック行事。昭和63年5月22日第39回全国植樹祭において、天皇皇后両陛下がお手植えされた樹木(ヒノキとクロガネモチ)を、皇族殿下がお手入れされる行事として、平成29年秋季に第41回全国育樹祭がまんのう町の香川県満濃池森林公園において計画されている。



第39回全国植樹祭式典



大西 豊 議員

本会議とは

本会議とは、全議員で構成され、議案の議決など議会の意思は本会議で決められます。また、本会議には定例会と臨時会があります。

定例会とは、毎年、条例で定める回数招集されるもので、まんのう町議会の場合は3月、6月、9月、12月の年4回招集されます。ただし、特別な理由がある場合には、これによらないことができるとされています。

臨時会とは、緊急の場合などに特定の案件を示して招集されるもので、回数に制限はありません。



若い力を(新入団員)



新たな10年のスタート



古代のロマンを訪ねて



ニ宮忠八翁にとどけ

取材の足跡

町民のみなさん、取材にご協力ありがとうございます。





仲南地区 今田雅人さん31才 野菜づくりにかける青春



夢は大きく ガッツポーズは小さく 力強く

今回は、野菜づくりに情熱をかける若き新規就農者取材させて頂きました。
「作物は手を掛ければ掛けただけ良いものに育ちます。そこにやりがいと楽しさを感じています。
今、自分がこうして、野菜づくりに従事できるのも、人に支えられ、助けられてい



非農家に生まれる。サラリーマンをしていたが、心機一転、愛媛県の農業法人で2年間研修。農業の大切さと本当の意味での地域貢献は農業であるということを知る。
その後、琴平町榎井にある農業大学で学び卒業。
現在、知人・農地管理機構のお世話で町内に4反の農地を借り、なばな3反、なすび6畝、葉もの、玉ねぎ4畝を作っている。
(取材日 平成28年12月27日)

るからです。機械を持っていなかった自分が機械を持つことができた、技術面でも自分を助けてくれる人がいることに心から感謝しています。
平成29年の1月からは、現在の農地をさらに4反増やすことになっています。将来的にはさらに拡大し、地元の人を雇用できればと考えています。将来の夢は、雇用の面でも地域貢献できるようにすることです。」と語ってくれました。
穏やかな口調と青年らしいさわやかな対応の中にも、野菜づくりにかける熱い想いがあふれていました。
一日も早く将来の夢が大きく花ひらくことを私たちも願っています。
取材の日、野菜畑には濃緑のなばなが豊かに育っていました。



議会議長 川西米希子
副委員長 白川 皆男
委員 川原 茂行
委員 大西 豊
委員 白川 年男
委員 白川 正樹

町民の皆さんこんにちは。
梅の花もふくらみ春間近となりました。22号発行に当り編集委員一同一人でも多くの人に読んでもらうため、よりわかりやすくするため努力し頑張っています。
これからもお読み頂きますよう、よろしくお願い致します。

あしがき

編集副委員長 白川 皆男

今月の表紙
琴南こども園
クリスマス会

平成28年12月21日にクリスマス会が催されました。サンタさんの来園に子どもたちは大よろこび。サンタさんからのプレゼントを目を輝かせて受けとる子どもたちの姿が本当に可愛かったです。



プレゼントが気になるよ～



リサイクル可能な植物油インキを使用しています。

●この議会だよりは、四国新聞販売株式会社に委託し、町内の全世帯に配布しています。
配布についてのお問い合わせは、まんのう町議会事務局 TEL: (73) 0109 まで